



セイノーホールディングス株式会社

証券コード：9076

平成30年スローガン

創成

第97期 株主通信

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日



西濃運輸 静岡支店 平成30年5月竣工

トップメッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここにセイノーホールディングス株式会社第97期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、平成29年度を初年度とする中期経営計画「バリューアップ チャレンジ 2020 ～成長へのテイクオフ～」を策定し、これまで培ってきた「強み」を伸ばし企業価値の最大化を追求するとともに、新たな価値の創造を目指し、一丸となって邁進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は5,961億30百万円（前連結会計年度比5.0%増）、営業利益は278億79百万円（前連結会計年度比2.8%増）、経常利益は291億20百万円（前連結会計年度比0.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、200億46百万円（前連結会計年度比10.1%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

田口 義隆

セイノーグループ 経営理念

「人間尊重」と「挑戦」のDNAを基礎とした「経営理念」

～お客様への+αの豊かさの提供の為に～『会社を発展させ、社員を幸福にする』

CS「お客様満足」の継続的提供の為にES「従業員満足」が基盤です。

そして、全社員が幸福になるには、

経済的に満たされること、自分の仕事に誇りを持つこと、将来に明るい展望を持つこと、

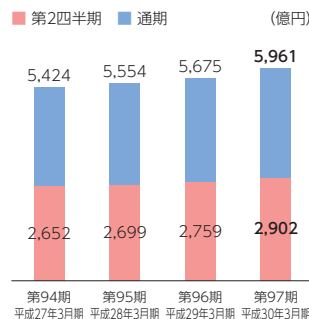
この三点が何よりも重要と考えています。

これら「経済問題・誇り・将来性」を幸福の三本柱と呼んでいます。

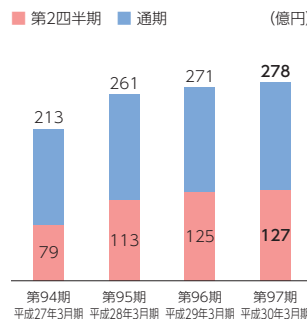
決算ハイライト

- ◎ 輸送事業では、新規荷主獲得や適正運賃・諸料金・燃料サーチャージ收受、更なる効率化により増収増益。
- ◎ 自動車販売事業では、トラック・バスの新車販売が好調であったものの乗用車の新車販売が前年同期実績をわずかに下回り、増収減益。
- ◎ 物品販売事業では、燃料販売における販売単価の上昇や数量増で増収増益。

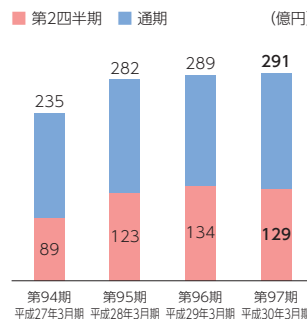
売上高



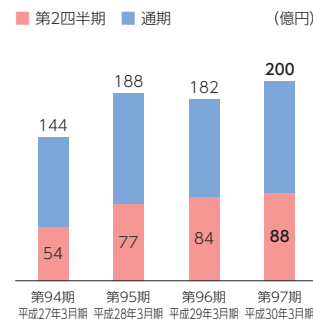
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



次期見通し

	第2四半期	前年同期比	通期	前年同期比
売上高	2,954億円	1.8%増	6,020億円	1.0%増
営業利益	126億円	1.3%減	284億円	1.9%増
経常利益	137億円	5.9%増	308億円	5.8%増
親会社株主に帰属する当期純利益	89億円	0.3%増	196億円	2.2%減

セイノーグループ事業概要

「カンガルー便」でおなじみの路線トラックで、日本全国の企業間物流のパイオニアとして日本の産業を力強く支える輸送業を核に、自動車分野の知識を活かした自動車販売など本社所在の岐阜県を中心とした生活支援の事業を行っています。

連結子会社76社、持分法適用関連会社7社、関連会社14社

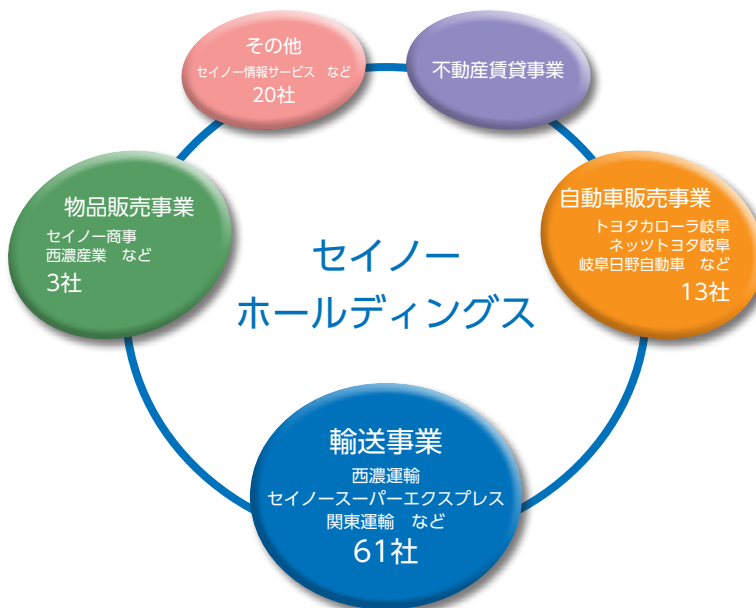
情報関連事業、住宅販売業、建築工事請負業、タクシー業および労働者派遣業などを行っています。



セイノーグループが所有しているトラックターミナルや店舗の跡地などを賃貸しています。



ガソリンなどの燃料販売、紙・紙製品販売、携帯電話 docomoショップ運営などを手掛け、物流関連機器販売などを行っています。



岐阜県でトヨタ「カローラ」「ネット」の乗用車を販売し、岐阜・滋賀両県で日野自動車のトラック・バスを販売。お客様の車両の修理・メンテナンスも行います。

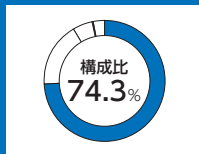


日本初の長距離路線開発や総合物流商社としてのビジネスモデルを確立するなど、企業間（B to B）貨物輸送で業界トップシェア。商品の検査や流通加工業務も手掛けます。国際貨物輸送も通関手続きから輸出入、海外の集荷・配達まで一貫して提供します。

セグメント別の概況

輸送事業

売上高 4,431億円
前連結会計年度比4.8%増

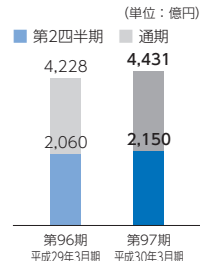


主力の市川物流センター

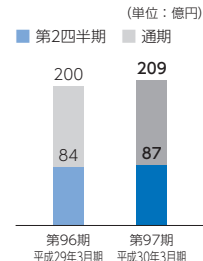
25mフル・トレーラ

- ◎ 新規荷主の獲得や適正運賃・諸料金・燃料サーチャージ收受の積極的な交渉を推進。
- ◎ ロジスティクス分野においてお客様の「製造・加工業務」を取り込む。

売上高



営業利益



トピックス

川崎支店オープン

西濃運輸株式会社では、川崎支店をDPL川崎夜光3階に移転オープンしました。DPL川崎夜光は、大和ハウス工業が展開するマルチテナント施設で、同支店は高速のインターに近く、大型トラックが走行可能なランプウェイや、約2,800㎡の保管庫を保有しており、物流倉庫として最適な施設となります。



上越支店オープン

濃飛西濃運輸株式会社では、道路整備事業による土地取用にて上越支店を新築移転しました。同支店は、北陸自動車道上越ICより車で2分、直江津港より車で5分と交通の便が良く、2階には5,600㎡の保管庫も併設されております。また、今回の新築移転に伴い、上越市に所在していたセイノスーパーエクスプレス株式会社上越営業所も同支店内に移転いたしました。



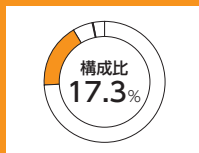
総合効率化計画に認定

西濃運輸株式会社では、JR貨物と連携した取り組み（10トントラックで行っていた東京方面から九州方面の輸送を、途中大阪貨物ターミナル駅までトラック輸送し、その後九州方面へ貨物列車で輸送する）が国土交通省の「総合効率化計画」に認定されました。同計画は、2者以上の者が連携し、流通業務の総合化および効率化を図ることで、環境負荷の低減および省力化に寄与する事業を認定する制度となります。



自動車販売事業

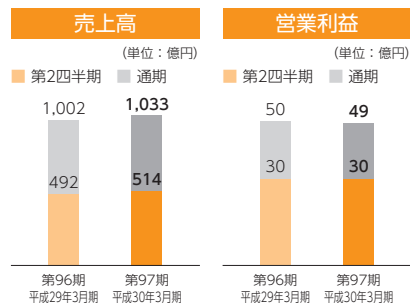
売上高 1,033億円
前連結会計年度比3.1%増



新型カムの販売

フィリピンのサービスセンター

- ◎ トラック・バスの新車販売台数が増加。
- ◎ 乗用車の中古車販売台数が増加。



トピックス

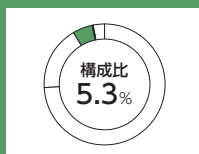
垂井店オープン

ネットトヨタ岐阜株式会社では、垂井店と長松店を統合し、垂井店としてブランドオープンしました。新垂井店は、旧垂井店の敷地を拡張し、総敷地面積は約4,600㎡と西濃地区No.1の広さであり、明るく開放的なデザインで、広々とした空間が演出された約420㎡のショールームや、冷暖房設備を完備した整備工場、女性社員専用トイレ・更衣室などが設備され、働きやすさに配慮された造りとなっております。



物品販売事業

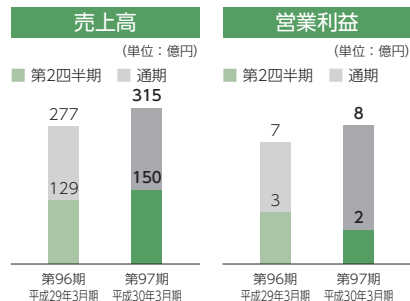
売上高 315億円
前連結会計年度比13.8%増



ギフトセットの販売

産地直送品販売

- ◎ 燃料販売や家庭紙販売が好調に推移。



トピックス

「Shine select (シャインセレクト)」商品の販売

株式会社セイノー商事では、全国から選び抜かれたフルーツ、魚介類等の産地直送品販売をおこなっております。その一環として、全国にまたがるセイノーグループのネットワークを活かし、各地のセイノーグループ社員から「是非皆様に召し上がっていただきたい」地元の逸品を募集し、厳選された商品をShine select (シャインセレクト) おすすめ商品として販売しております。



不動産賃貸事業

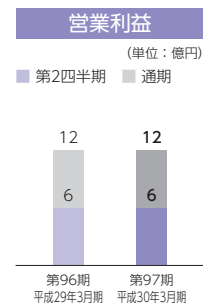
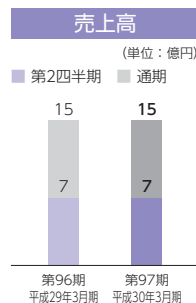
売上高 15億円
前連結会計年度比3.6%増



スイートスクエア大垣

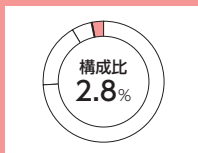
旧新宿ターミナル跡地の活用

◎ 大垣駅南街区「スイートスクエア大垣」の本格的運用により増収。



その他

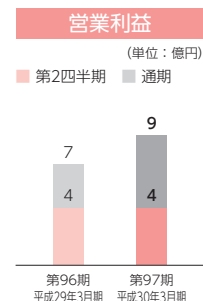
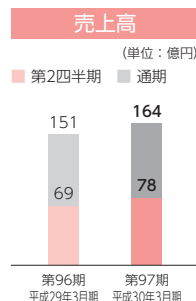
売上高 164億円
前連結会計年度比8.6%増



ジャパントクシーの導入

住宅の販売

◎ 情報関連事業において、ソフトウェア開発、クラウドサービス、情報機器販売が好調に推移。



今期のトピックス

「[こども宅食] がペアレンティングアワード コト部門」を受賞

西濃運輸株式会社およびココネット株式会社が参加するプロジェクト「こども宅食」が、平成29年11月30日に人気育児雑誌が選ぶ子育てトレンド 第10回 ペアレンティングアワードのコト部門に選ばれました。

<http://parentingaward.com/award.html>

「こども宅食」とは、東京都文京区と5つの非営利団体が共同で運営し、生活の厳しいひとり親家庭などの自宅に、1~2ヶ月に一度食品を無料で届け、それを切り口にこどもの貧困問題を解決する新しいセーフティネットを創るプロジェクト。この事業の物流を担っているのが、セイノーグループの西濃運輸とココネットです。

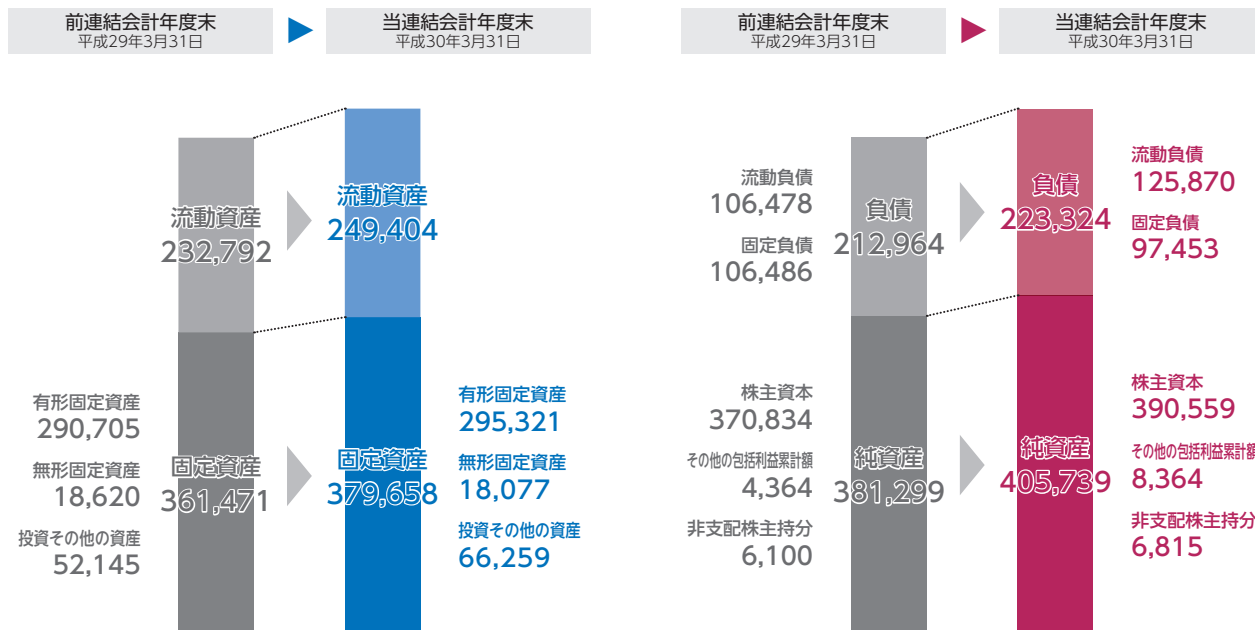
この事業は、29年度は文京区に住んでいる生活の厳しいひとり親家庭など約150世帯を対象に実施され、今後は準備が整い次第さらに拡大し、日本のこどもの貧困問題を解決することを目標としています。



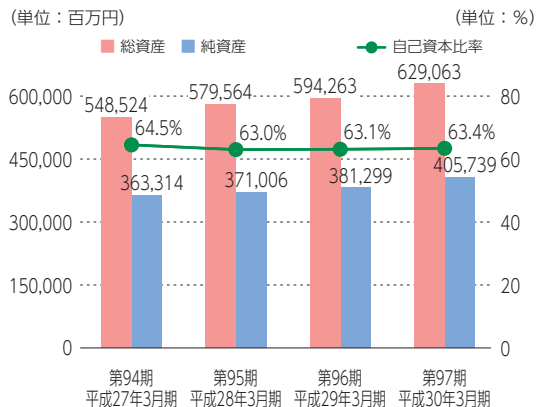
配達の様子

連結財務データ

■ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



総資産／純資産／自己資本比率



ワンポイント解説

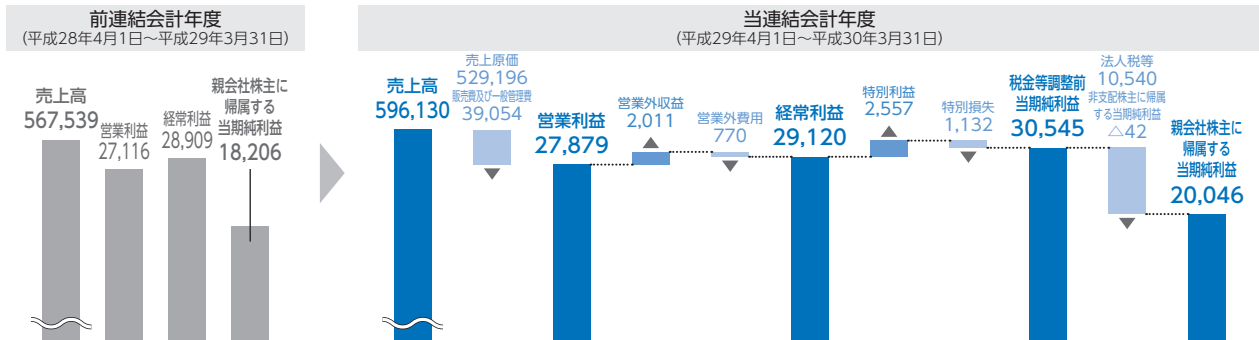
連結貸借対照表

総資産は、6,290億63百万円と前連結会計年度末に比べ347億99百万円の増加となりました。現金及び預金、投資有価証券が増加したことなどが主な要因であります。

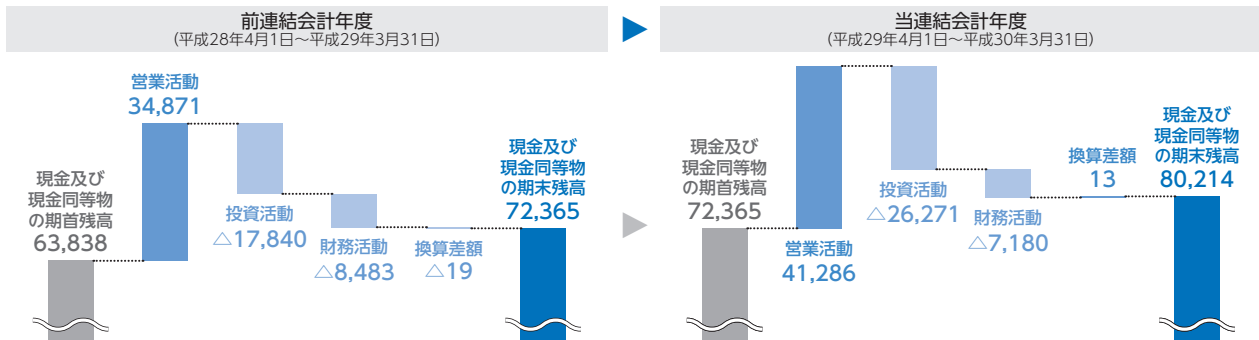
負債については、2,233億24百万円と前連結会計年度末に比べ103億59百万円の増加となりました。営業未払金及び買掛金が増加したことなどが主な要因であります。

純資産については、4,057億39百万円と前連結会計年度末に比べ244億39百万円の増加となりました。利益剰余金が増加したことなどが主な要因であります。

■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



ワンポイント解説

連結損益計算書

P.2「決算ハイライト」およびP.4～5「セグメント別の概況」をご覧ください。

連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ78億48百万円増加し、802億14百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ64億15百万円増加し、412億86百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が増加したこと、法人税等の支払額が減少したことなどによるものです。

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ84億30百万円増加し、262億71百万円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が増加したことなどによるものです。

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ13億3百万円減少し、71億80百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が減少したことなどによるものです。

会社情報 (平成30年3月31日現在)

会社情報

創 業 昭和5年2月11日
設 立 昭和21年11月1日
本 社 岐阜県大垣市田口町1番地
資 本 金 42,481,597,426円
事 業 内 容
1. 貨物自動車運送事業
2. 貨物利用運送事業
3. 倉庫業
4. 自動車の販売、修理等
5. 燃料、紙・紙製品等の販売
6. 他の事業に対する投資
7. 前各号に付帯する一切の事業 他

グループ会社 連結子会社 76社
持分法適用関連会社 7社
関連会社 14社

役員

代表取締役社長 田 口 義 隆
代表取締役 田 口 隆 男 事業推進部担当
(自動車販売・関連事業)
取 締 役 神 谷 正 博 事業推進部担当(輸送事業)兼
情報システム部担当兼不動産開発部担当
取 締 役 丸 田 秀 実 国際戦略室担当
取 締 役 古 橋 治 美 総務部担当兼人事部担当兼
コーポレート推進部担当
取 締 役 野 津 信 行 財務IR部担当兼経理部担当
社 外 取 締 役 棚 橋 祐 治
社 外 取 締 役 上 野 健 二 郎
社 外 取 締 役 山 田 メ ム ミ
常 勤 監 査 役 熊 本 隆 彦
常 勤 監 査 役 寺 田 新 吾
社 外 監 査 役 加 藤 文 夫
社 外 監 査 役 笠 松 栄 治

※ 山田メムミ氏につきましては、その名前が高名であるため、上記のとおり表記しておりますが、戸籍上の氏名は、原芽由美(はらめゆみ)であります。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など、当社をご理解いただくための様々な情報を紹介しております。



セイノーHD

検索

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>



株式の状況 (平成30年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	794,524,668株
発行済株式の総数	207,679,783株
単元株式数	100株
株主数	5,153名

株主名	持株数
公益財団法人田口福寿会	25,816千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	21,416
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,692
株式会社十六銀行	6,538
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,347
日野自動車株式会社	4,359
株式会社大垣共立銀行	4,065
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	3,627
アドニス株式会社	3,299
東京海上日動火災保険株式会社	3,035

(注) 上記のほか当社保有の自己株式7,385千株 (3.56%) があります。自己株式7,385千株には「信託型従業員持株インセンティブ・プラン (E-Ship®)」により、野村信託銀行株式会社 (セイノーホールディングス従業員持株会専用信託) が所有する当社株式723千株を含めておりません。

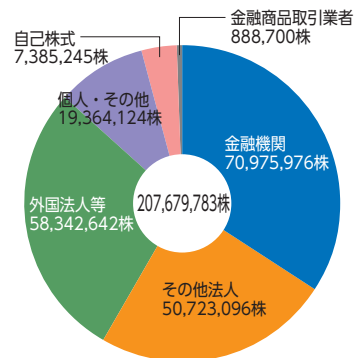
株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の設定		
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
その他株式事務について		

所有者別株式数



特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

公 告 の 方 法 電子公告
<http://www.seino.co.jp/seino/shd/koukoku/index.htm>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元未満株式(1~99株)の買取・買増について

当社株式の市場取引は100株単位となっております。単元未満株式をお持ちの場合、端数の株式が整理できる買取・買増制度を設けております。

買取請求とは

お持ちの単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる手続きです。

買増請求とは

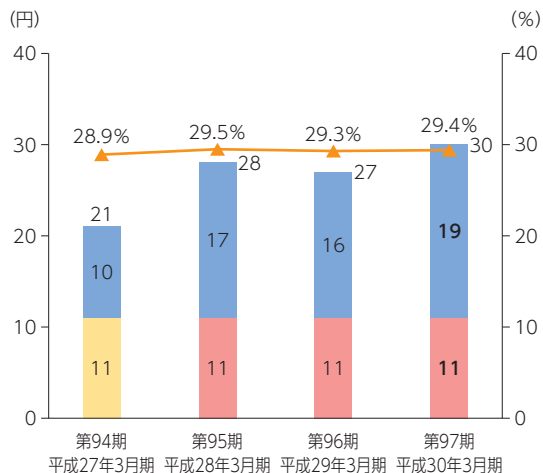
お持ちの単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

株主還元情報

配当金

利益配分につきましては、中・長期的視野に立って株主資本の充実と利益率の向上を図りながら、中間配当を実施し、原則として1株当たり年間11円を下限とし、連結配当性向30%を目処として配当を実施するよう努めてまいります。

■ 中間配当 ■ 期末配当業績連動 ■ 期末安定配当 ▲ 配当性向



株主優待制度

毎年3月末日現在の株主様へ、保有株式数および保有期間に応じた割引額のクーポン（※）を贈呈いたします。

※クーポンとは当社グループ会社が運営する「なっつく！セイノーショッピング」の専用サイトで入力することでお支払いを割引く認証コードであり、実際の金券等は発行されません。

※特設サイトではQUOカードも取扱っております。

	100株以上 1,000株未満	1,000株以上
3年未満保有	700円相当	1,200円相当
3年以上継続保有（※）	1,200円相当	2,200円相当

（※）3年以上継続保有とは、権利が確定する3月末日現在の株主名簿を含む、過去の3月末日および9月末日現在の株主名簿へ7回連続して記載されることとします。また、その期間中の株主名簿への株式数の記載が100株または1,000株を下回らない場合を、それぞれ100株以上または1,000株以上とします。

セイノーホールディングス株式会社
〒503-8501
岐阜県大垣市田口町1番地
TEL 0584-82-3881 (代)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。